

腰部セミナーカリキュラム

①腰部疾患の評価方法	
実技 3時間 目標 ・腰部筋の鑑別をマスターする ・圧痛の評価方法をマスターする ・体幹屈曲/伸展動作の観察ができるようにする ・疼痛動作を見分けられるようにする	座学1時間 目標
内容 ・圧痛点の触診方法解説(組織位置指標) ・圧痛評価 ・体幹の動きの評価 ・疼痛動作評価	内容 ・疼痛原因となる腰部組織の解説 ・腰痛動作の分析

②屈曲/伸展性腰痛の正しい鑑別評価と臨床対応	
実技 3時間 目標 ・整形外科テストをマスターする ・屈曲性腰痛の臨床的な評価をマスターする ・伸展性腰痛の臨床的な評価をマスターする	座学1時間 目標
内容 ・各種整形外科テストの正しい方法と意味合い ・疼痛軽減テストによる病態の把握方法	内容 ・評価フローチャート ・各種検査の解説

③屈曲性腰痛のアプローチ	
実技 3時間 目標 ・屈曲性腰痛のメカニズムの理解 ・屈曲性腰痛のアプローチができる	座学1時間 目標
内容 ・屈曲性腰痛の原因の理解 ・屈曲性腰痛の具体的なアプローチ	内容 ・メカニカルストレスの解説

④伸展性腰痛のアプローチ	
実技 3時間 目標 ・伸展性腰痛のメカニズムの理解 ・伸展性腰痛のアプローチができる	座学1時間 目標
内容 ・伸展性腰痛の原因の理解 ・伸展性腰痛の具体的なアプローチ	内容 ・メカニカルストレスの解説

⑤仙腸関節痛の評価とアプローチ	
実技 3時間 目標 ・仙腸関節のメカニズムの理解 ・仙腸関節痛のアプローチ選択が正しくできる ・仙腸関節痛のアプローチができる	座学1時間 目標
内容 ・仙腸関節痛の鑑別評価 ・仙腸関節痛の具体的なアプローチ	内容 ・メカニカルストレスの解説 ・仙腸関節の役割

⑥腰部疾患まとめ 患者さんを想定してみよう	
実技 3時間 目標 ・実際の症例をモデルに評価・アプローチを行えるようにする ・評価を実施できるようにする ・アプローチを実施できるようにする	座学1時間 目標
内容 ・仮想3症例に対し評価を実施する ・評価結果からアプローチを選択 ・アプローチの前後で機能評価を行う	内容